

管理運営評価シート(令和6年度)

施設名称	縄文の里・朝日	評価対象年度	令和 6 年度
指定管理者名	公益財団法人イヨボヤの里開発公社	所管課	生涯学習 課
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)	評価者(課長)	平山 祐子

1 令和6年度の実績

(1)事業実績

利用実績	有料入館者数 1317人、有料体験者数 745人、食堂・売店利用人数 715人
サービス向上の取組	①ホームページ及びSNS等での情報発信 ②利用者のニーズに沿った施設運営 ③特別展や各種行事の充実

(2)管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (4年度)	前年度 (5年度)	当該年度 (6年度)	合計	備考
収入	指定管理料	27,687	29,423	30,121	87,231	基本協定額: 149,390 千円
	利用料金				0	
	事業収入				0	
	自主事業収入	226	297	408	931	
	その他				0	
	収入合計 ①	27,913	29,720	30,529	88,162	
支出	人件費	15,386	15,627	16,741	47,754	
	福利厚生費	2,791	3,090	3,231	9,112	
	事務費	1,268	1,305	1,034	3,607	
	管理費	6,003	7,015	6,612	19,630	
	水道光熱費	2,767	3,328	2,834	8,929	
	修繕料	201	349	88	638	
	使用料・リース料	501	686	758	1,945	
	手数料・保険料	84	87	284	455	
	委託料	2,450	2,565	2,648	7,663	
	事業費	409	485	477	1,371	
	自主事業経費	93	219	251	563	
	その他	1,830	1,901	2,026	5,757	
	支出合計 ②	27,780	29,642	30,372	87,794	
収支差額(①-②)		133	78	157	368	

2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考 (◎、△、×のときは評価内容、その他 特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	◎	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	◎	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	◎	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が的確になっている。	◎	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	◎	◎	SNSを活用した広報活動を積極的に行い、令和5年度と比較すると若年層の利用者が増加するなど、利用促進に努めている。
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	◎	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	◎	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	◎	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎: 協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○: 協定等の内容どおり業務を履行しており適正
△: 協定等の内容に対し、一部不履行がある ×: 協定等の内容に不履行があり改善の必要がある - : 該当なし

3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

(1) 指定管理業務実施上の課題	
	令和6年度は大雪や停電の影響で臨時休館(12月8日、2月9日)とした日があったが、今回のような状況下の判断指針についての規程がなく、状況を鑑みその都度所管課と協議を行うというものであった。現場職員の意見として、判断が遅れてしまうと職員並びに利用者の安全確保ができず2次災害が起こりかねない状況になる恐れがあるため、早急に対応策を講じなければならない。今後、所管課との協議を図り、対策マニュアルを作成していく。
(2) 課題解決に向けた取組	
	所管課との協議の下、防災対策マニュアルの見直しを図り、大雪積雪や停電等で職員並びに利用者の安全が確保できない場合の対応を記載することとした。(※令和7年度より運用開始)
(3) その他	
①利用者からの主な意見や苦情、対応策	常設展及び企画展、体験活動でのアンケートは60件ほどで、職員の接客態度について「良好」との回答を得た。指定管理事業の各種体験でのアンケート結果として、「講師の職員が丁寧で分かり易かった」とのご意見をいただいた。 また令和6年度は「土器」についてのご意見が多く、全国でも類を見ない珍しい土器の展示を行っていることもあり、好評を得た。一方で、「展示の説明についてわかりやすいものにしてほしい」等のご意見もあったため、今後の改善事項として検討を重ねていく。これも「土器」全般において、利用者が興味を示しているものであるため、この機に乗じ「土器」の魅力をPRし、更なる入館者増加を図る。
②その他	

4 全体的な評価

(1) 指定管理者の評価	
	施設管理や利用者への対応については、指定管理者として判断ができかねない場合、早急に所管課と情報共有を図り、指示を仰いでいる。イベントや体験活動等は、市報で情報掲載を行い、ポスターでの周知やホームページ、SNS等の情報発信を積極的に行った。各事業についても毎年同一のものではなく新しいものを少しでも取り入れられるよう会議を重ね、様々なアイデアを出しながら創意工夫をしている。利用者のアンケートでは「ほぼ良好」との評価を得られ、施設運営は概ね良好に行われていると感じている。
(2) 施設所管課の評価	
	施設管理および利用者について、適宜所管課へ確認および情報共有を行っている。イベント内容についても様々なアイデアを出して創意工夫に努めており、利用者アンケートでも良好な結果が得られ、施設運営は概ね良好に行われていると評価できる。また広報活動として市民向けに市報の活用や、市外・県外の人向けにSNSを有効活用している事は、利用者のサービス向上にもつながっている。
(3) 次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)	
	SNSを活用した広報活動により、新規利用者およびリピーターの確保が期待される。また、各要望を把握しながら、地域の歴史・文化の振興に寄与するような企画展示や講座の開催等を行っていただくとともに、新たなジャンルの広報活動を模索し、外部へのPRをより一層広げるなど、さらなる利用者の増加に向けた取り組みを進めてもらいたい。